

項目	内容
名称	パセリ (パセリ油) [英]Parsley [学名]Petroselinum crispum NYMAN var. angustifolium HARA、Petroselinum crispum (Mill.) Nyman ex A.W.Hill
概要	<p>パセリは地中海沿岸地方原産のセリ科の香味植物で、広く栽培されており品種も多い。香辛料や付けあわせとして日本でも馴染みが深いハーブである。全草特に新葉に芳香があり、薬味として、また葉、根および種子の生、乾燥、精油が用いられる。種子油は果実から、パセリ油は地上部から水蒸気蒸留で得られる。パセリ油の香りは生葉の香りであるが、種子油の香りは全く異なる。薬用目的では消化器系や婦人科の健康増進、利尿の用途で使用されているようである。</p>
法規・制度	<p>■ <b>食薬区分</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種子油、根、葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。</li> </ul> <p>■ <b>食品添加物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存添加物 香辛料抽出物 (スパイス抽出物/香辛料/スパイス)：苦味料等</li> <li>・ 天然香料基原物質リスト パセリ (オランダゼリ) が収載されている。</li> </ul>

	<p>■ 海外情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米国ではGRASに該当する。</li> </ul>	
成分の特性・品質		
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精油 [アピオール (apiol)、アピオリン、ミリスチシン (myristicin)、ピネン (pinene)]、フラボノイド、配糖体、ビタミンC、A、鉄、マンガンなどを含む。</li> </ul>	
分析法	-	
有効性		
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。	
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。	
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。	
ヒトでの評価	<b>生殖・泌尿器</b> <b>一般情報</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドイツのコミッションE (薬用植物評価委員会) では腎臓結石の治療に使用が承認されている (58)。</li> </ul>	
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
	試験管内・動物他での評価	調べた文献の中に見当たらない。
	参考情報	

参考文献

- (20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン
- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
- (23) 天然食品・薬品・化粧品的事典 朝倉書店 小林彰夫ら 監訳
- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
- (58) The Complete German Commission E Monographs  
[\(PMID:10756241\) J Allergy Clin Immunol. 2000 Apr;105\(4\):844.](#)
- (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).  
[\(PMID:21530883\) Ann Allergy Asthma Immunol. 2011 May;106\(5\):447-8.](#)  
[\(PMID:12365194\) Eur J Drug Metab Pharmacokinet. 2002 Jul-Sep;27\(3\):153-6.](#)
- (2006298285) 日本皮膚科学会雑誌. 2006;116(6):945.
- (2007119508) 日本皮膚科学会雑誌. 2006;116(13):2212-7.